

photopos 28

2016.7.13～2016.8.6

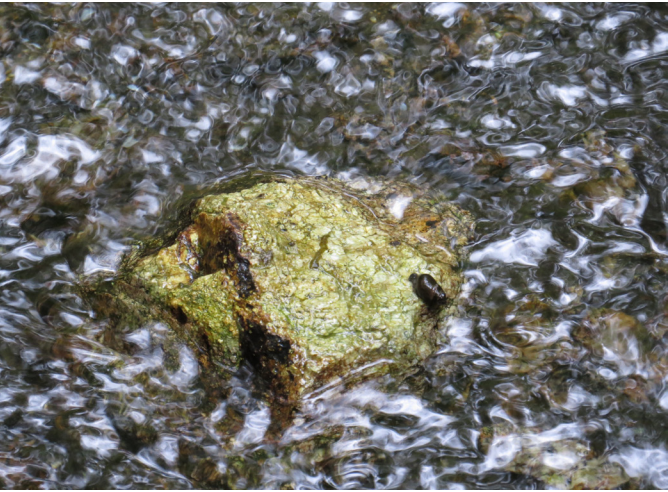
【神秘学ポエジー～風遊戯 第56集】

photo ヴァージョン

photopos676-700

神秘学遊戯団

photopos-676
2016.7.13



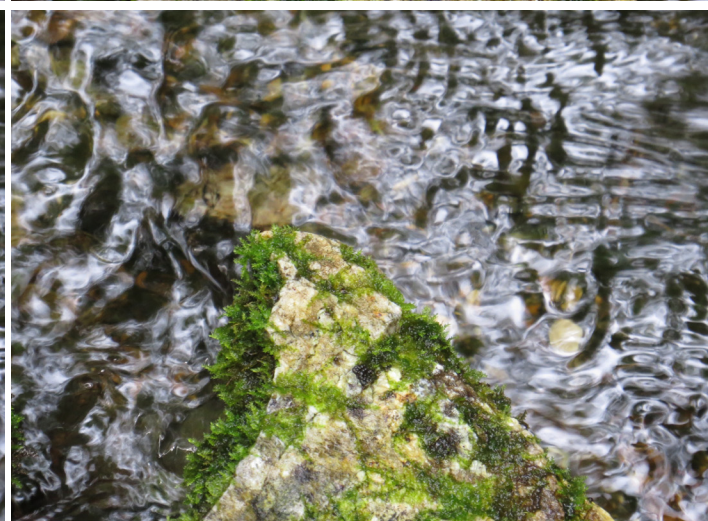
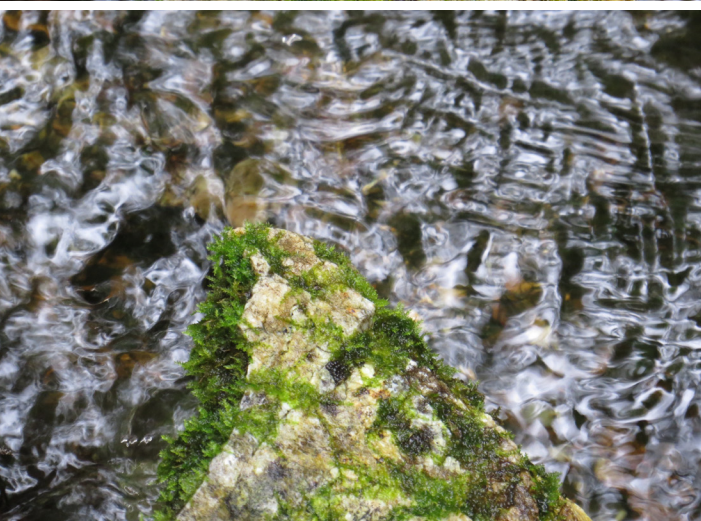
愚か者になることを恐れる
私のなかの小賢しい道化よ
その帽子を衣装を脱ぎ捨てるがいい

仮面のなかでは呆けた顔が
作り笑顔をしているだけなのだから
頭のなかでは悲しい小石が
ころころ泣いているだけなのだから

我を去ろうとして
私の空虚に力ある我を求める者よ
愚かなこの我を力の限り演じるがいい

* 高知市・雨の牧野植物園にて

photopos-677
2016.7.14



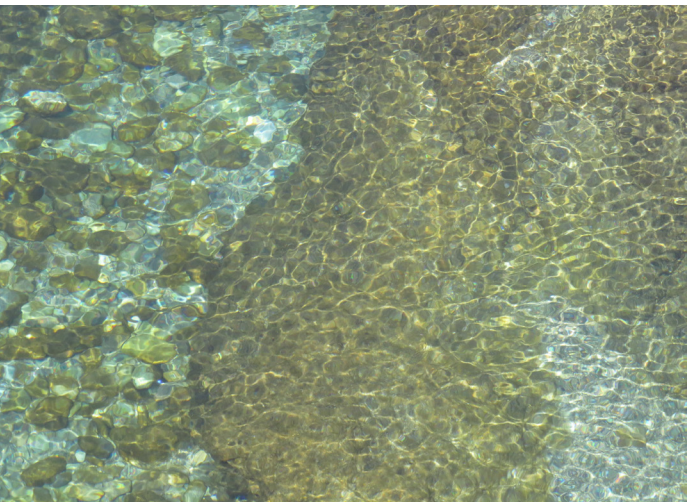
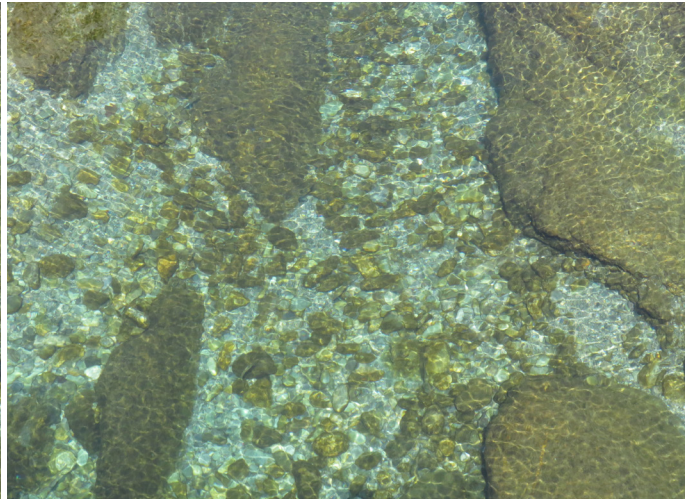
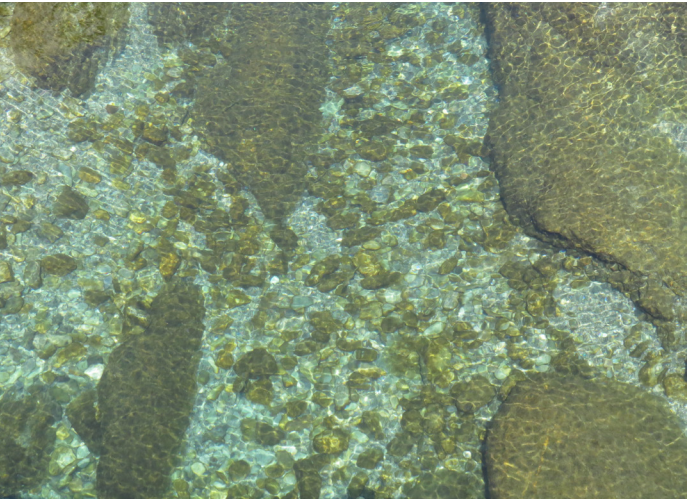
水は流れ
光は描く
時は流れ
心は描く

迷いときは
迷いのままに
藁には縋らず
迷いの根を探せ

暗闇のときは
暗闇のうちに
外に光を求めず
内なる光を探せ

* 高知市・雨の牧野植物園にて

photopos-678
2016.7.15



たとえその世界が
永遠のように見えたとしても
今は私たちの前から去り続ける
時を止めてしまえば
音楽が消えてしまうように

Now-here は No-where
どこにもない場所で
私たちは今を生きている
そしてどこにもない場所こそ
永遠にいちばん近い場所なのだ
虚空に消え続ける音楽のように

* 高知県の町・仁淀川上流にて

* Eric Dolphy

“When music is over, it’s gone in the air. You can never capture it again.”

photopos-679
2016.7.16



さざさざ
さざなみのように
さざめきは
みずにひろがり

さやさや
ささやくように
さやけく
かぜはすぎゆき



ふるふる
ふるえるところ
ゆらゆら
ゆらめきながれ

* 高知県の町・仁淀川上流にて

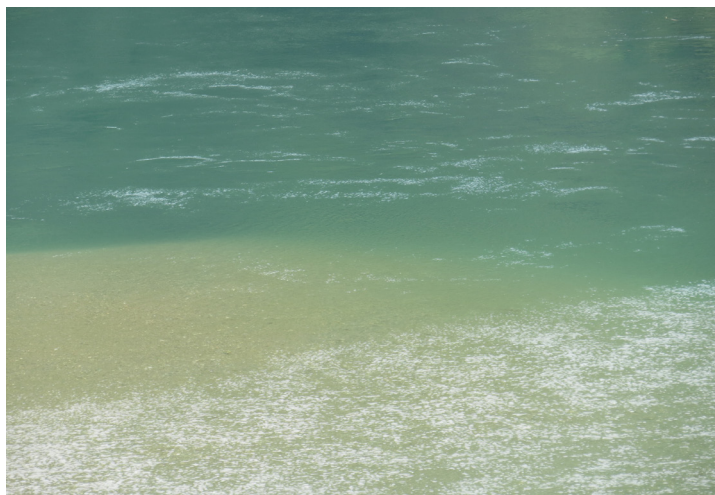
photopos-680
2016.7.17



やさしく流れる心に
うかびくるものを
とどめようとしても
風をつなぎとめようとするように
笑いながらどこかへ消えてゆくだけ

分かるために
分けることで分からなくなる
そのもどかしさを抱え
答えを探しつづけ
問いをなくしてさまよい

わたしという謎よ
わたしという心よ
静かに流れよ
明滅する夢と現の舟にゆられ
流れのなかに悲しみをゆらし



* 高知県の町・仁淀川上流にて

photopos-681
2016.7.18



求めているのだ
生きるという謎のなかで
わたしという鏡のなかで

その手をのばして
なにを求めようとしているのか
わからないままに



その目を凝らして
なにを見ようとしているのか
わからないままに

その耳を澄ませて
なにを聴こうとしているのか
わからないままに

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-682
2016.7.19



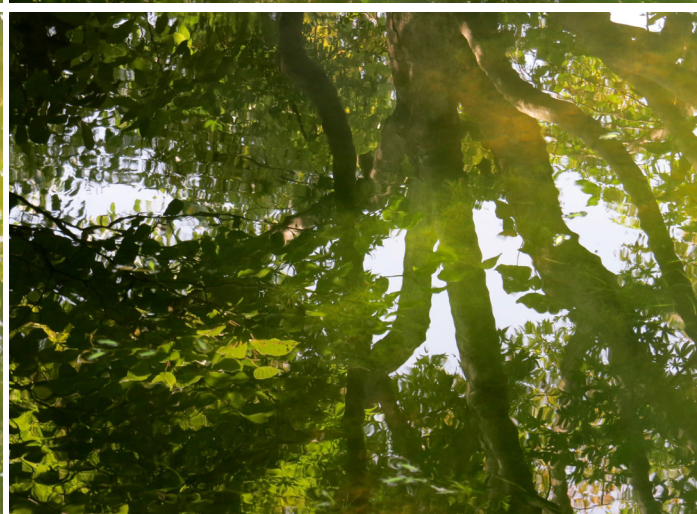
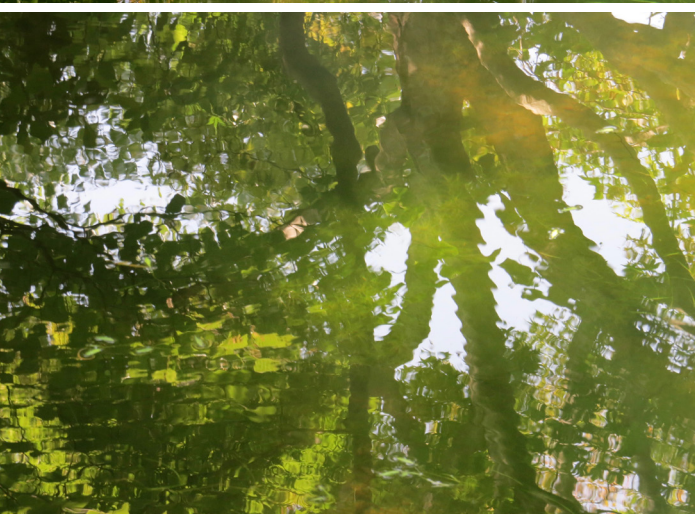
どんなに明るく
太陽が照らしても
霊性の太陽が
輝かないとき
世界は闇に
閉ざされたままだ

どんなに多くの
言葉が費やされても
ほんとうの言葉が
そこになければ
言葉は光を運ばない

けれど
どんな短い
時間でしかなくても
それを生きているならば
刹那でさえも
永遠を輝かせることができる

*高知県北川村・モネの庭にて

photopos-683
2016.7.20



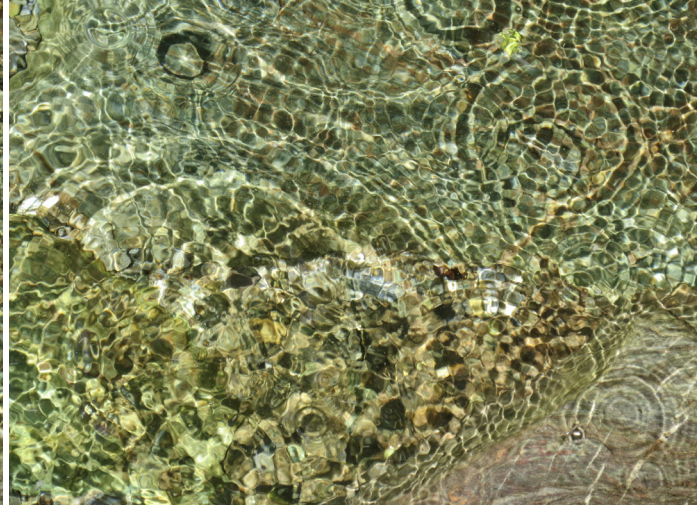
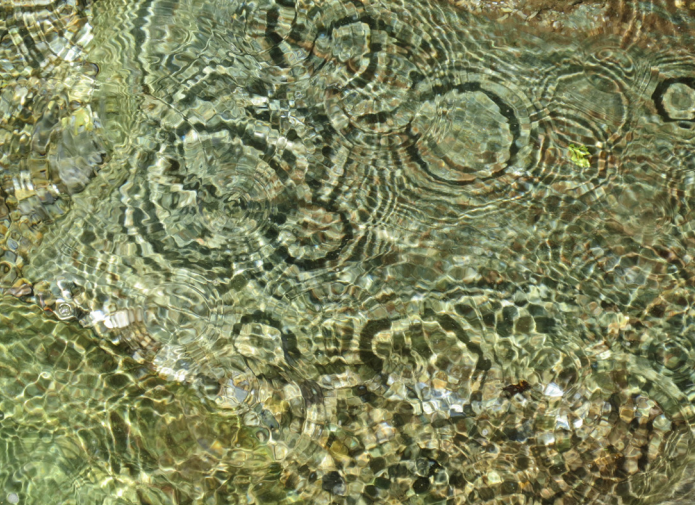
おぼえているかい
ここで出会ったことを
やがていつかまた
ここで出会えることを

時の魔術は
記憶の魔術
大切なもの
大切なことは
永遠の記憶になる

ことは変わるだろう
姿は変わるだろう
けれど変わらないものは
たしかにここにあるのだ

* 高知県北川村・モネの庭にて

photopos-684
2016.7.21



花のように
踊っているのは
秘密の曼荼羅

風のように
交響しているのは
秘密の言葉たち



光の種が蒔かれると
それはカタチをむすび
次々と姿を変えてゆく

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-685
2016.7.22



すきとおった水は悲しい
光がさまよい続けるから

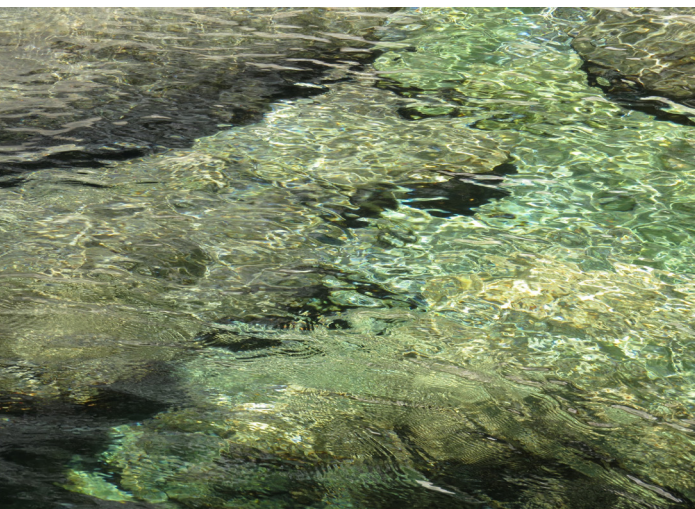
すきとおった色は妖しい
引き込まれてしまうから

すきとおった心は危うい
境をなくしてしまうから



* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-686
2016.7.23



ゆるゆるゆる
境でゆれるとき

目も境になる
耳も境になる
手も境になる

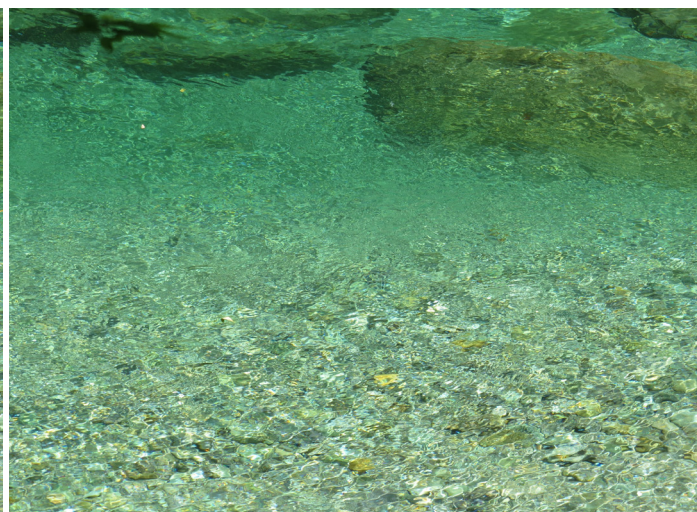
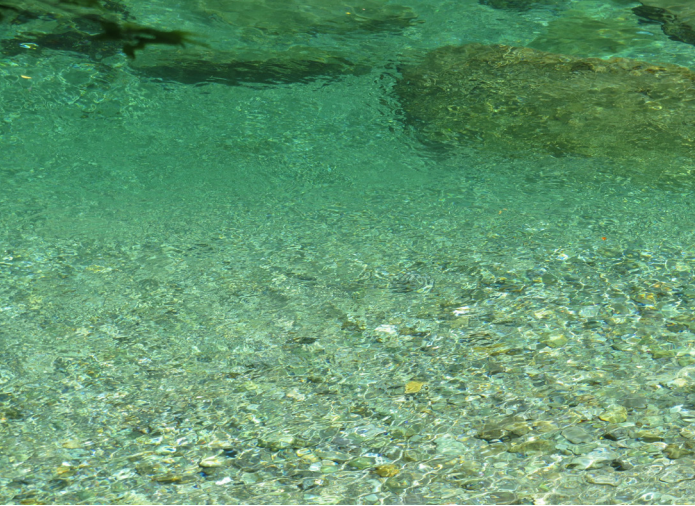
思考も境になる
感情も境になる
意志も境になる

ゆるゆるゆる
私は境でゆれる

私は私
それともあなた
私という現象が
ゆるやかに点滅する

photopos-687

2016.7.24



奏でられる
水の音に
心ゆだねれば

知られぬものが
呼びかけてくる
名づけられぬものが
静かに歌っている

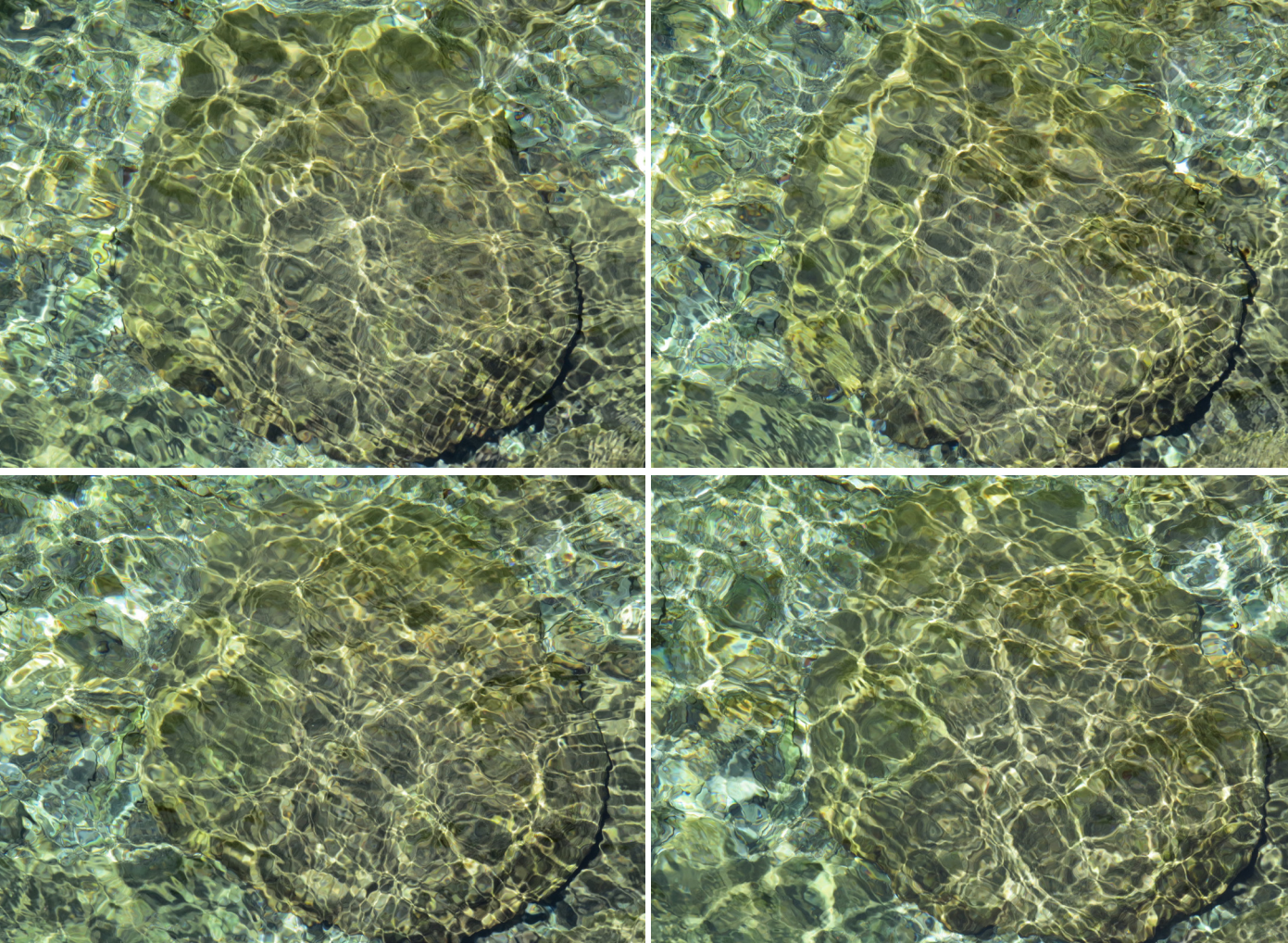
知るものは
去りゆくだろう
名づけられたものは
失われるだろう

されど
心の底を静かに流れる
時の深みに
心ゆだねるとき

見えぬものは
訪れるだろう
聞こえぬものは
響き渡るだろう

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-688
2016.7.25



お話を聞かせて
これからぼくに
訪れる不思議の話を

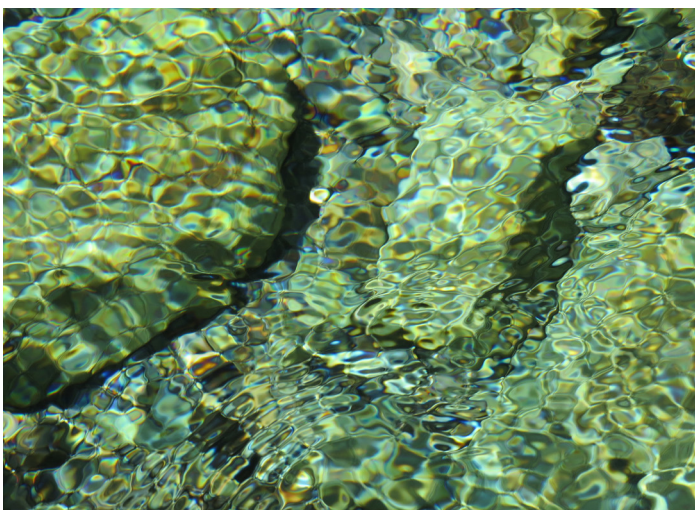
変わっていくぼくと
変わらないぼくの
不思議のカタチの話を

問い続けるぼくと
問いを恐れるぼくの
矛盾を生きる生の話を

流れゆくすべてのなかで
持続し熟していくぼくの
躓きながらも歩いてゆく話を

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-689
2016.7.26



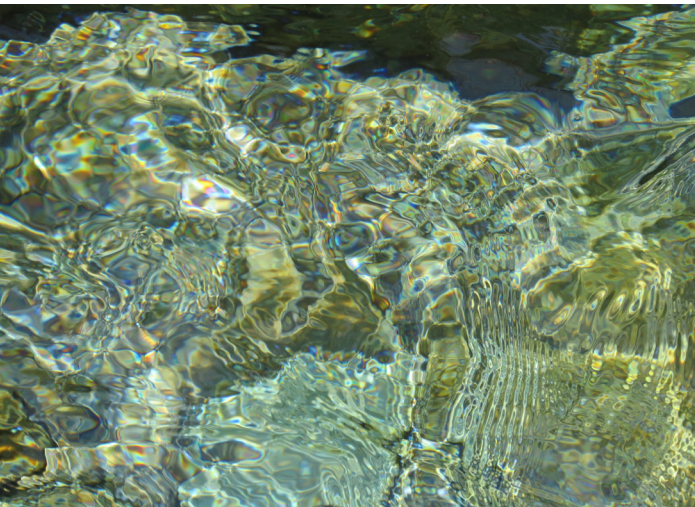
どんなにおいしい料理も
どんなにきれいな服も
どんなに賢い知識も
どんなに権威のある教育も
ほんとうのたべものにならないければ
たましいを満たせはしない

どんなにささやかでも
どんなにちっぽけでも
どんなにたよりなくても
どんなにまずしくても
ほんとうのたべものさえあれば
たましいは満たされて輝きはじめる

すきとおった光と水と風が
わたしたちの輝くばかりの
ほんとうのたべものになるように

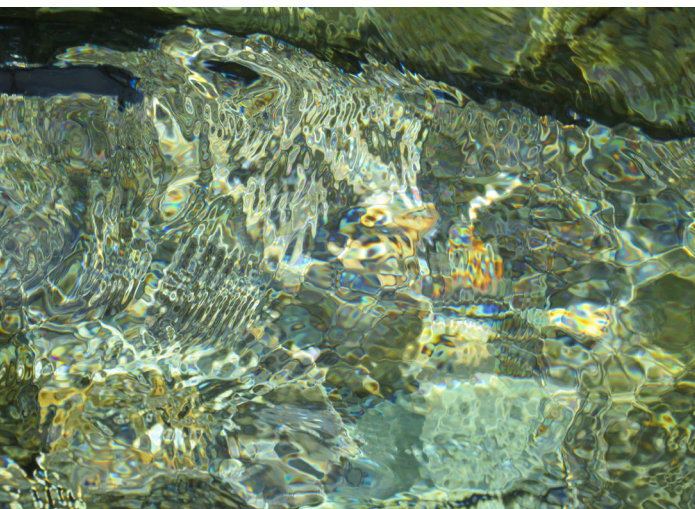
* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-690
2016.7.27



未生の時のなかで
不意になにかが
身じろぎをし
わたしという不思議が現れる

流れるものは
流れてゆき
留まるものは
たたずみながら



心騒ぐ日には
踊るように
心穏やかな日には
深い息とともに
わたしという謎のまえで

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-691
2016.7.28



変わることを恐れない
変わらないものはないのだから
変わらないものは
変わるということのなかにある



傷つくことを恐れない
完全なものはないのだから
傷つかないためには
新たな形を求め続けなければならない

悲しむことを恐れない
存在は悲しみそのものなのだから
悲しむことで
人は愛することを知るのである

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-692
2016.7.29

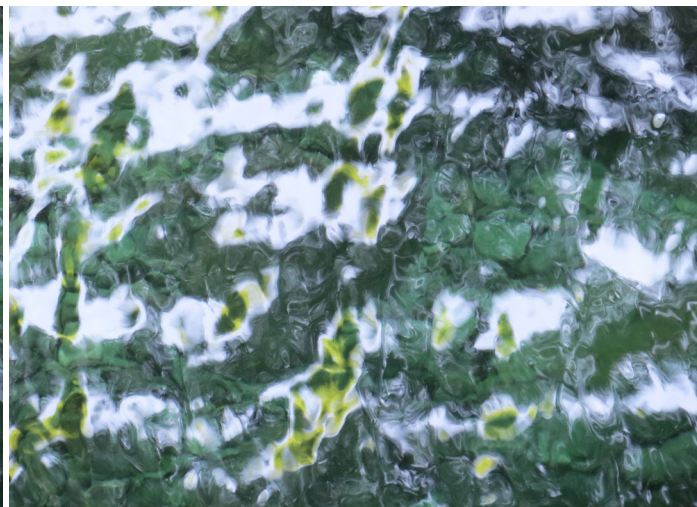
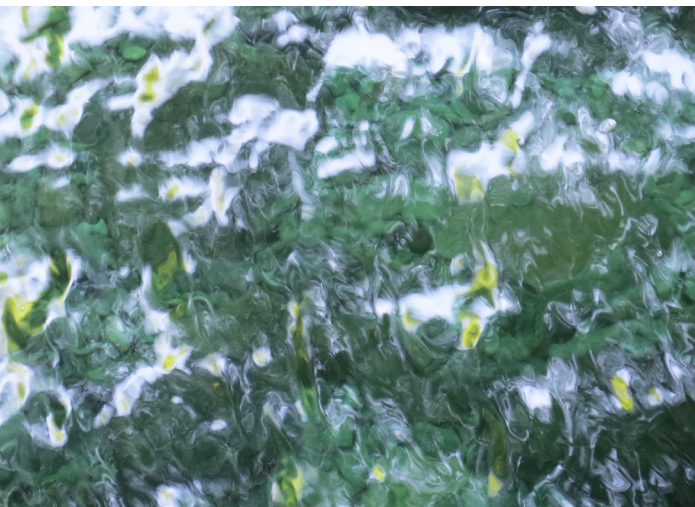


どんなに破壊的な力も
しなやかに変われる
内なる強さが私にあれば
私を貫くことはできない

どんなにささやかな言葉でも
そこに永遠にまで届く
智慧と愛があれば
私の胸は貫かれる

* 高知県北川村・モネの庭にて

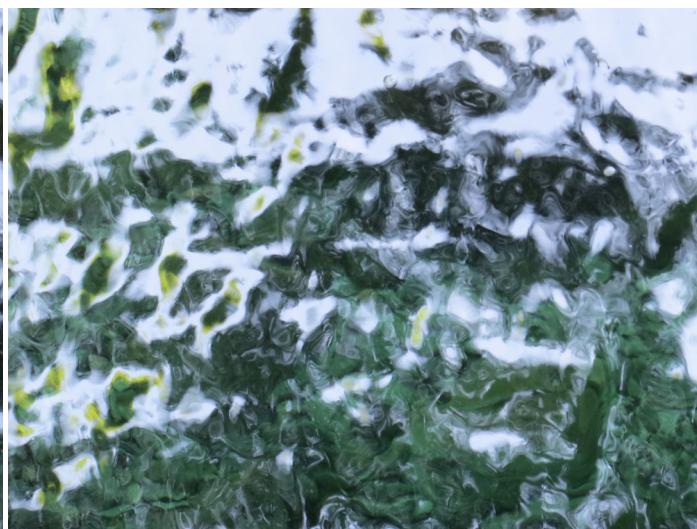
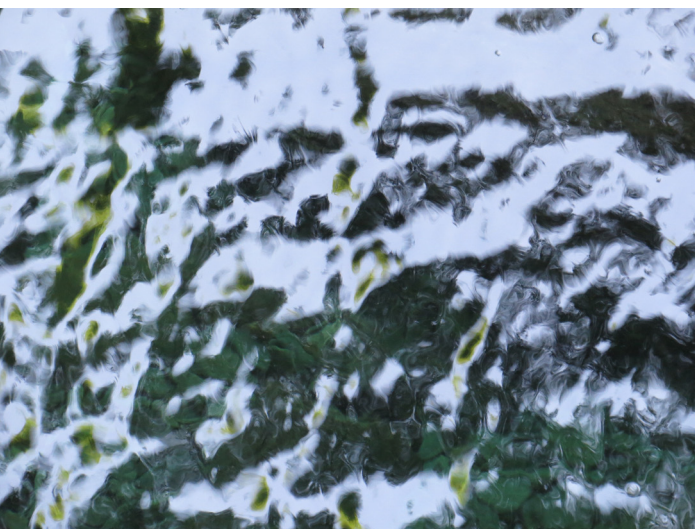
photopos-693
2016.7.30



魔法のことばを思い出せたら
会いたい人に会えるだろうか
魔法のことばで話せるだろうか

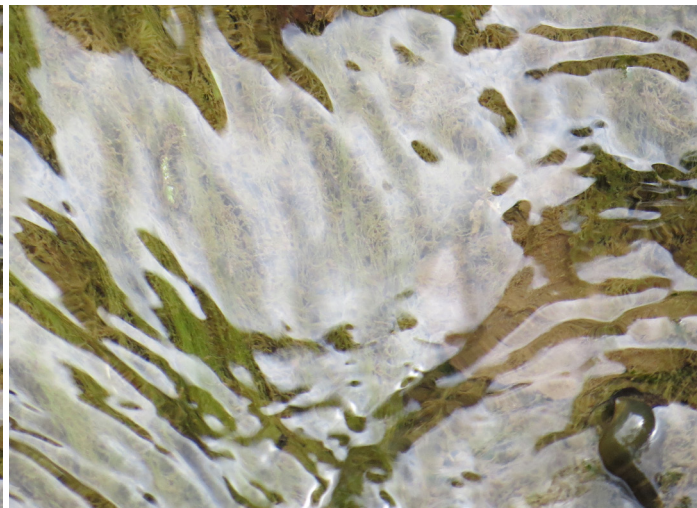
秘密のことばを思い出せたら
閉じた扉が開くだろうか
秘密の場所に行けるだろうか

太陽のことばを思い出せたら
光の故郷に帰れるだろうか
太陽のことばになれるだろうか

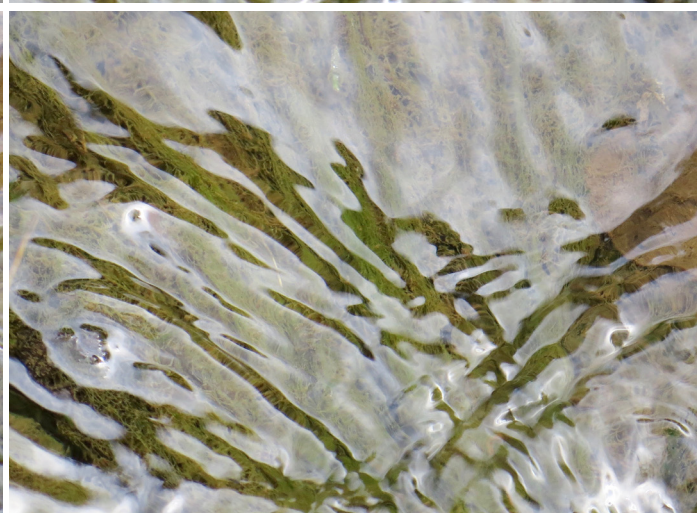
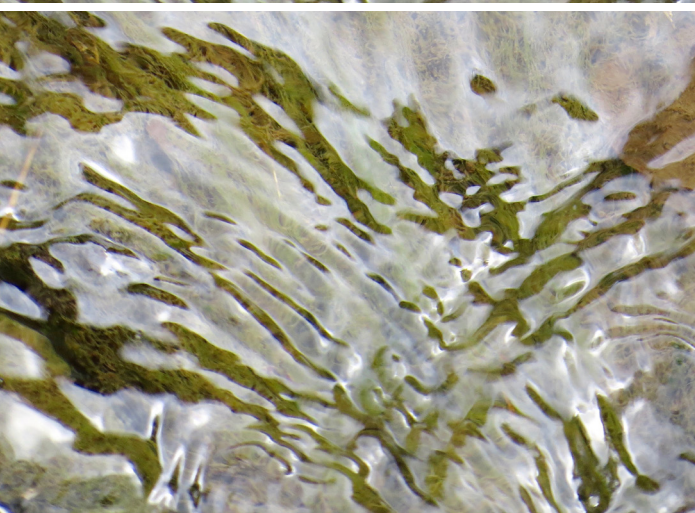


*高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-694
2016.7.31



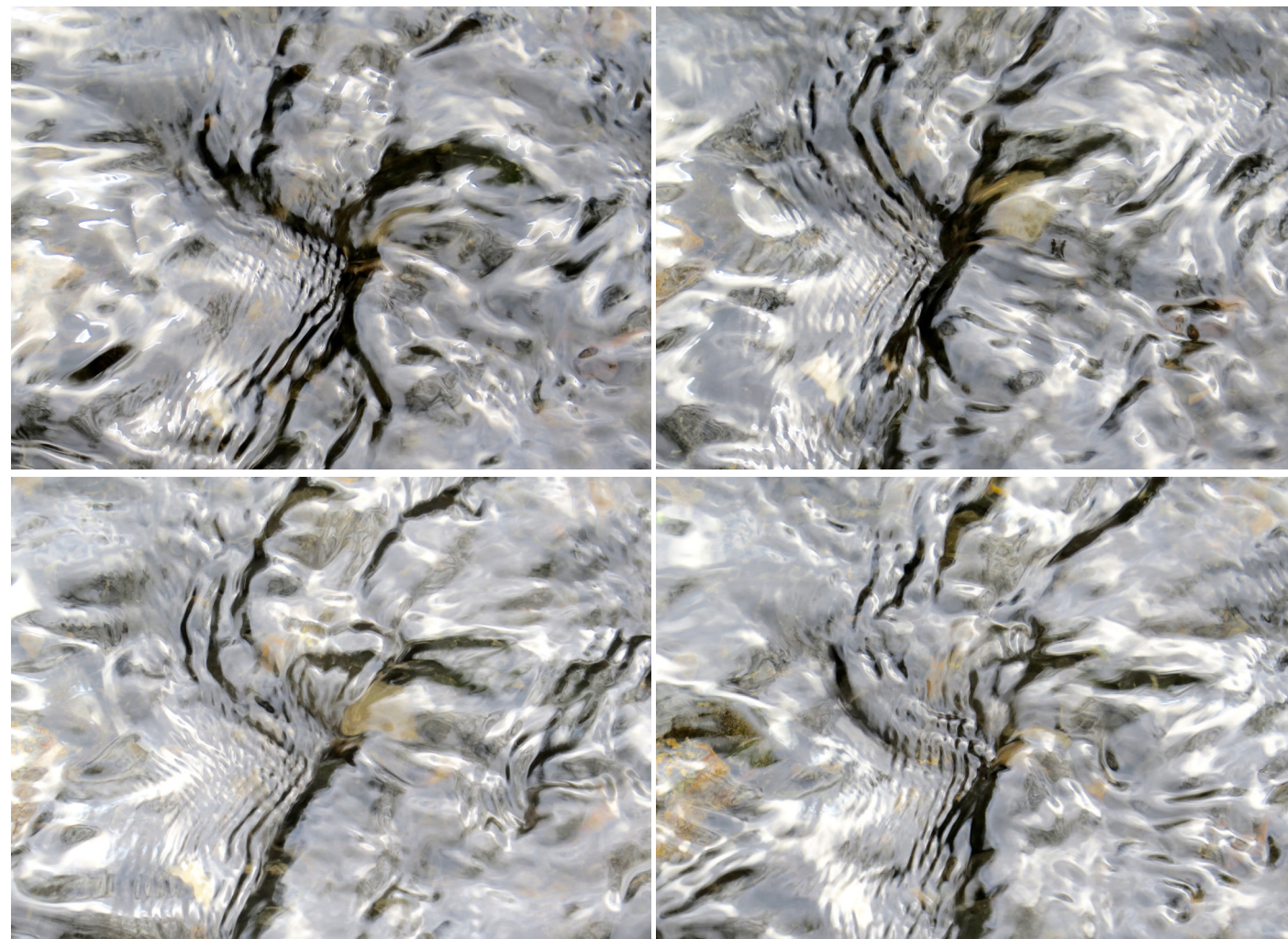
ほんとうのことばは
大地に満ちて
水に光に踊ります
風に大地に踊ります
森羅万象マントラ尽くし



けれどもやがて
ほんとうのなまえは忘れられ
魂のことばはとどかない
とどかないことばはどこへ行く
とどかない祈りはどこへ行く

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-695
2016.8.1



祈りは
言葉を超え
沈黙の舞踏へ

いのちを燃やした
熱の果てに
生まれ出ずる
光の思念を捧げて

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-696
2016.8.2



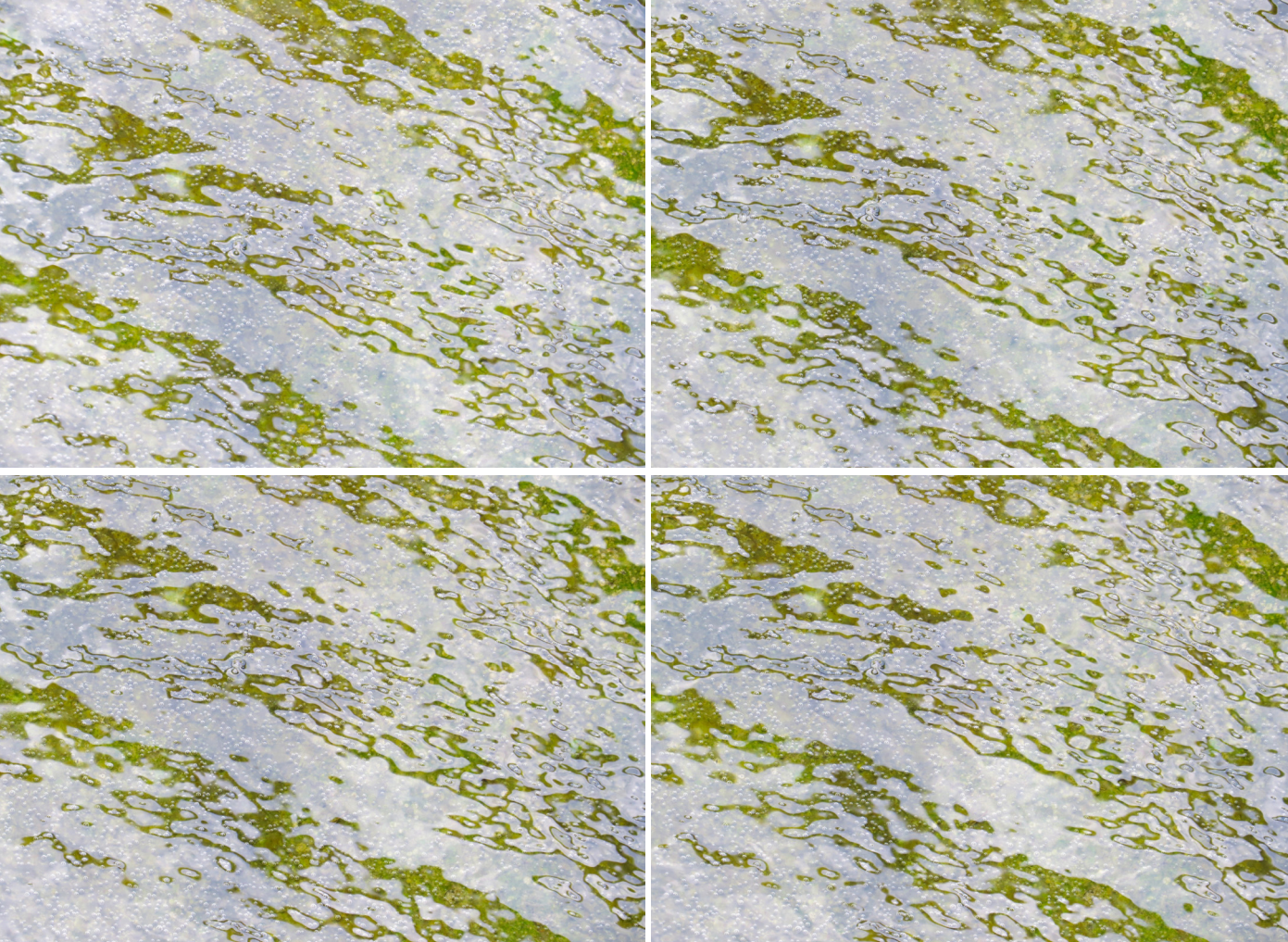
幻視せよ
光の白から
心のパレットに
呼び覚まされる
秘密の文字を

彼方から訪れる
夢の種は
やがて芽吹き
不思議曼荼羅を
紡ぎ始めるだろう

歌を聴け
わが胸の奥で
響き始める
懐かしき
秘密の歌を

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-697
2016.8.3



地図はない
座標はない
羅針盤とてない
星は見えない
陸は影もない
視界は悪い

それでも
教えられたことを
確かめないまま信じない
ただ流されているときも
流されないでいる
ただ歩くだけのときも
立ち止まることを忘れない

地図はじぶんでつくり
座標そのものを考えなおす
心の羅針盤をもち
内なる星をもつ
考えることを陸にする
新たな目をつくるのだ

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-698
2016.8.4



みんな泡のように現れて
泡のように消えてゆくのか？

ぼくも泡のように現れて
泡のように消えてゆくのか？

こころも泡のように現れて
泡のように消えてゆくのか？

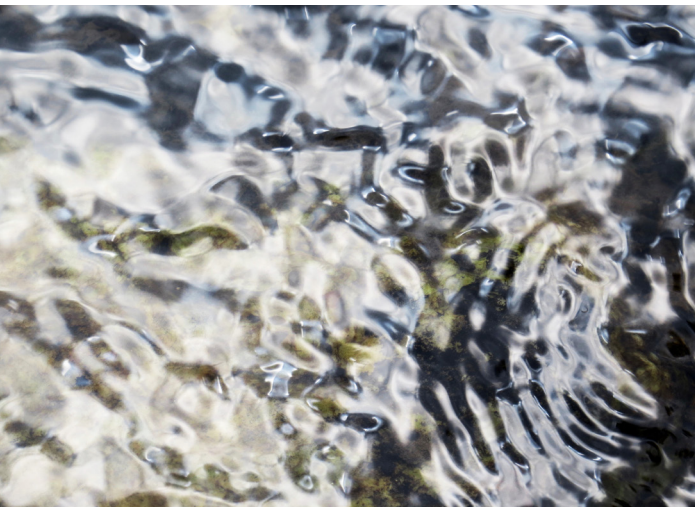


どこから現れたのか？
どこへ消えてゆくのか？

空のどこから
風の子どもが
少し不安そうな声で
話しかけてきます

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-699
2016.8.5



たましいの源より
みずからの由を忘れ
来たるものあり

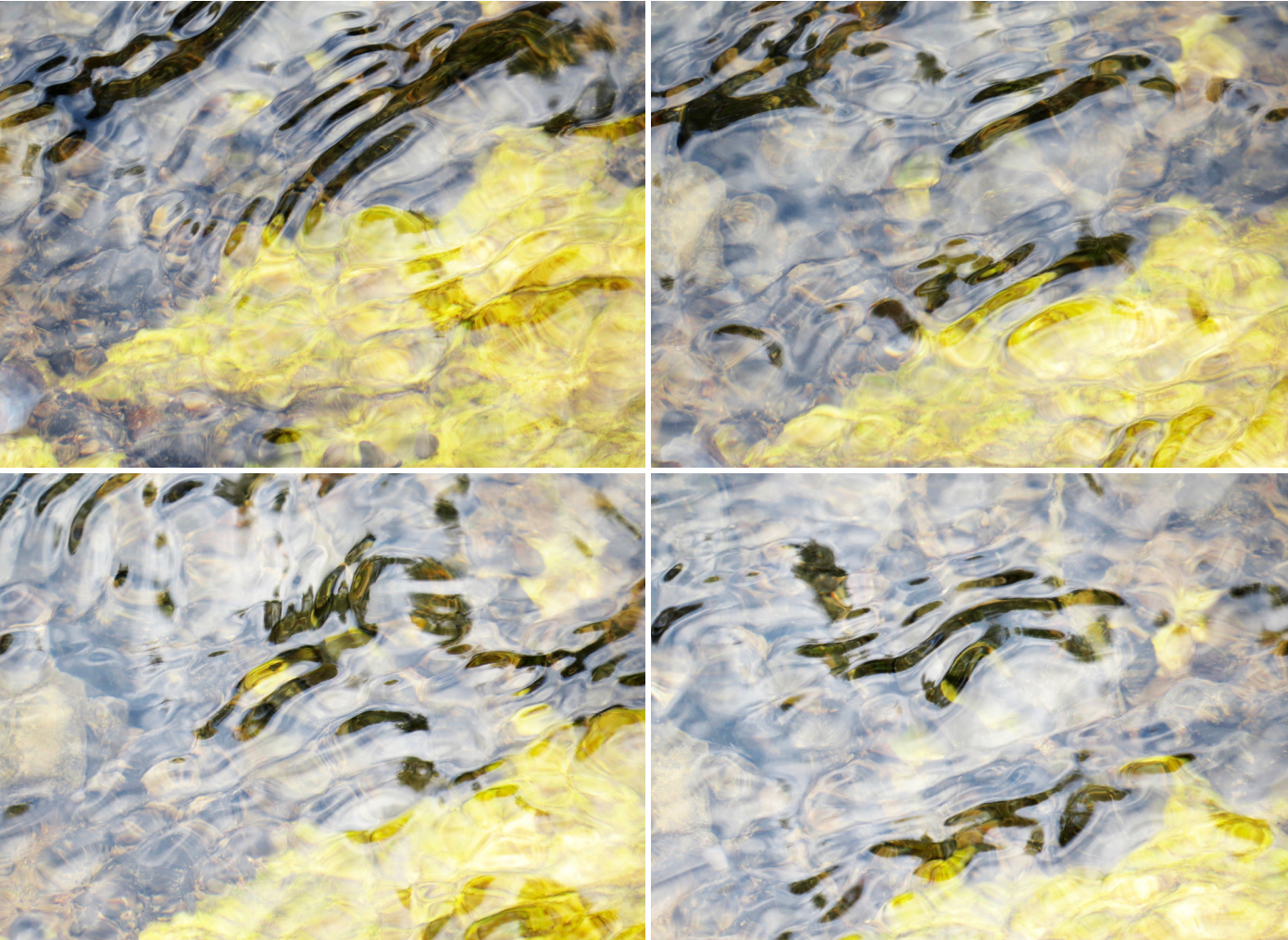
たましいの源へ
生の物語を連れて
還るものあり

そしてまたたましいは
みずからの由を忘れ
来たるであろう
新たな物語を生むために



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-700
2016.8.6



心を駆けるものあり
心に留まるものあり
心という不思議な乗りもの

光を放つものあり
光を留めるものあり
光という不思議なことば

時を経るものあり
時に留まるものあり
時という不思議な物語

* 高知県日高村・めだか池にて